

1 ねらい

- ・本が好きで、学校図書館を進んで利用する態度を育てる。(挑戦・探究、情報収集・判断)
- ・学校図書館を利用するために必要とされる基礎的な知識・技能・態度を育成することによって、望ましい学習態度と読書習慣を身に付ける。(知識・技能)

2 各学年の読書・図書館利用の目標

学年	読書の目標	目標冊数 (ページ数)	図書館利用の目標
1	やさしい読み物を楽しんで読む。	150冊	学校図書館に親しみ、正しい利用のしかたを知る。
2	やさしい読み物を進んで読む。	150冊	
3	いろいろな読み物を読む。	4000ページ	学校図書館の利用に慣れ、資料を利用できる。
4	感動を伝えながら、楽しんで読む。	4000ページ	
5	考えを深めながら読む。	5000ページ	学校図書館を積極的に活用し目的に応じて資料を処理できる。
6	考えを広げたり、深めたりしながら読む。	5000ページ	

3 具体的指導内容(学校司書と連携)

- (1) 図書館のしくみときまりを理解するとともに、活用できるようにする。
- (2) 読書の楽しさを体験できるような活動を仕組み、図書室経営を行う。
- (3) 本や資料の使い方を理解し、活用できるようにする。
- (4) 本の分類について理解するとともに、活用できるようにする。
- (5) 読書の計画(選択のしかたも含めて)と記録ができるようにする。
- (6) 月・木曜日の読書タイムの時間の確保や、昼休憩時の学校図書館開放に伴う図書の貸し出しにより、読書の習慣化を図る。
- (7) 読書量を増やすため、読書がんばりカードに記入をする。目標を達成した児童には、三学期末に賞状を渡し表彰する。
- (8) 読書タイムの時間等を利用して、担任による読み聞かせや、ペア読書を行い、読書に関心をもたせ、意欲につなげるよう取組を行う。
- (9) 子ども読書の日及び古典の日にあわせて、本の紹介や音読などに取り組み、読書について興味をもたせる。

4 運営方法

(1) 図書室

	担当	貸し出し冊数	貸し出し期間
火・木【昼休憩 13:00~13:15】	図書委員会	1冊	2週間
月・金【すいすい日課昼休憩 12:45~13:00】	図書委員会	1冊	2週間
夏季・冬季休業前および登校日	学級担任	2冊	

※ 貸し出し・返却の際、担任・図書委員が図書カードで確認する。

※ 貸し出しの際に、図書返却カードを配り、貸出期間を意識させる。

- (2) 学級文庫・・・読書タイムや学習内容に合わせて利用する。管理は学級担任が行う。
(係活動を位置づけるのが望ましい。)
- (3) 図書ボランティア・・・保護者の読み聞かせボランティアの方に読み聞かせをしてもらう。(月一回)
- (4) 環境整備・・・本の表示・掲示物・飾りなどを作り、図書室の環境整備をする。
- (5) 表彰・・・賞状を作成・学級担任に配布